

萩外荘公園

萩外荘展示棟

萩外荘公園開園から7カ月後の2025（令和7）年7月、公園の新たな施設「展示棟」がオープンしました。設計は、新国立競技場などを手掛けた隈研吾建築都市設計事務所が担当。1階はショップとカフェ、2階は展示室で、常設展で萩窪にゆかりのある人物や萩窪のまちの歴史・文化などを伝える資料を展示しているほか、企画展も開催しています。

「展示棟」の建つ場所は、鉾山学者、実業家の山田直矢が所有していた広大な土地の一部です。山田直矢がこの土地を購入する際、萩外荘の最初の居住者である入澤達吉の紹介があったとされています。また、山田家は小説家・志賀直哉と親戚関係にあり、志賀直哉の葬儀で使用された大谷石の祭壇（建築家・谷口吉郎による設計）が山田家の庭で使われていた縁から、展示室ではその大谷石も展示しています。



提供：萩窪三庭園

■ 山田直矢(1860-1939)

鹿児島生まれ。東京帝国大学工科大学教授を経て、三井鉾山合名会社取締役、三州倶楽部会長等を歴任。

■ 志賀直哉(1883-1971)

宮城生まれ。白樺派を代表する小説家。「暗夜行路」などを著す。戦後も随筆や評論を執筆し文化勲章を受章。

萩外荘展示棟 東京都杉並区萩窪2-42-12

■営業時間 1階カフェ 10:00～16:00
1階ショップ 9:00～17:00
2階展示室 9:00～17:00(最終入館時間16:30)

※開館日・営業日は萩外荘に準じます。展示替えのため見学できない期間があります。